

2022 年 12 月 13 日

## Panasonic GREEN IMPACT

CDP(※1)が実施する気候変動取り組みと透明性を評価する調査にて  
最高評価「A」(※2)を獲得

パナソニックホールディングス株式会社(以下 PHD)は、国際的な非政府団体 CDP による気候変動に関するコーポレートサステナビリティ調査において、透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められ、2022 年の「A リスト企業」に認定されました。



CDP の環境情報開示は、企業の環境報告のグローバルスタンダードとして広く認知されており、2022 年にはグローバルで過去最高の約 18,700 社の企業がこれに回答しました。PHD は、気候変動問題解決に向けたガバナンス、排出量削減活動、自社バリューチェーンの透明性の高い排出量開示等が高い評価を受け、気候変動カテゴリーで最高位「A」評価を獲得した日本企業 74 社のうちの 1 社となりました。

パナソニックグループは、「より良いくらし」と「持続可能な地球環境」の両立に向け、長期環境ビジョン「Panasonic GREEN IMPACT」(以下「PGI」)を掲げ、2030 年までに自社の事業に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を実質ゼロに、また 2050 年に向けては、現時点の全世界の排出総量約 330 億トン(※3)の「約 1%」にあたる 3 億トン(※4)以上の削減貢献インパクトの創出を目指し、事業活動に取り組んでいます。

今後も、喫緊の課題である気候変動問題の解決に向け、透明性の高い環境情報開示を推進し、社会と共にカーボンニュートラルを目指します。

※1: CDP は企業や自治体の環境取り組みの情報開示を求める活動を行うイギリスを本部とする国際的な非政府団体。130 兆米ドル以上の資産を持つ 680 社以上の機関投資家と、6.4 兆米ドルの調達支出を持つ 280 社の大手購買企業が、企業、自治体に CDP のプラットフォームを通じて環境への影響、リスク、機会に関するデータの開示を要請。

※2: 9 段階(A、A-、B、B-、C、C-、D、D-、F)の評価

※3: 2019 年 エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 336 億トン(出典:IEA)

※4: CO<sub>2</sub> 排出係数は 2020 年基準

以上